

令和6年度 自己評価

幼稚園型認定こども園柏ひがし幼稚園

A：とてもそう思う B：どちらかといえばそう思う C：どちらかといえばそう思わない D：そう思わない

I 保育目標・保育方針	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 園の保育目標や保育方針は分かりやすい。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
② 園の保育目標が子どもたちの中に生きている。	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
③ 園の保育目標や保育方針は、本園の園児にとってふさわしいものになっている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
④ 園の保育目標は、園の創立の理念を生かしている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%

<<園の保育目標>>

- ・ 健康で明るい子
- ・ 約束を守り お友達と仲良く遊べる子
- ・ 物事に感謝できる 心豊かな子
- ・ 思いやり深く 心の広い子

<<園の保育方針>>

大いなる愛情 「愛されることより、愛することを学ぶ」

- 思いやりの心 「他人の喜びを自分の喜びと受け入れる心」
- 教育形成の土台作り 「生活習慣・しつけの習得」
- 知恵の心 「今、何をすべきか判断できる正しい心」

II 保育計画	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 園の保育計画は、保育目標・保育方針を生かして作られている。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
② 子どもたちの年齢ごとの保育計画がある。	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
③ 園の保育計画は、必要に応じて見直されている。	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
④ 園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになっている。	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%

III 保育環境	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 室内の温度、湿度、換気、照度等の適切な管理や感染症拡大防止策に務め、衛生的な保育環境を保っている。	5	42%	7	58%	0	0%	0	0%
② 園舎内や園庭は、園児が活動しやすい安全な環境を常に保持できている。	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
③ 安心できる人的・物的環境をつくり「感覚」の動きを豊かにするように配慮している。	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
④ 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
⑤ 年齢の異なる園児が、触れ合えるような環境構成をしている。	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%

IV 保育内容・方法	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
② 園児にわかりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている。	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
③ 基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
④ 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む考慮をしている。	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%
⑤ 園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%

V 食育	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 食材に興味を持ったり、苦手な食べ物にも挑戦しようとする工夫をしている。	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
② 食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができた。	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
③ 食事のマナーを知り、守りながら楽しく食事ができる環境をつくっている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%

④ 野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感が得られるようにした。	7	58%	4	33%	1	8%	0	0%
---	---	-----	---	-----	---	----	---	----

Ⅵ 保育士の役割・質向上

	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 一人ひとりの園児をよく観察し、個性を生かすとともに、平等に接している。	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
② 全ての園児に平等に接するように心がけている。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③ 園児にわかりやすい温かな言葉遣いで話している。	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
④ 自己研修や機関研修に前向きに取り組んでいる。	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%
⑤ 保護者との信頼関係ができています。	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%

Ⅶ 子育て支援

	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 園児の登降園時や電話、連絡帳を通して、園児の様子を保護者に伝えている。	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
② 保護者の子育てについての相談にのっている。	6	50%	5	42%	1	8%	0	0%
③ 子育て支援の内容について全員で話し合いをしている。	4	33%	7	58%	1	8%	0	0%
④ 子育て講演、情報提供を行っている。	3	25%	6	50%	3	25%	0	0%
⑤ 保育参観やその他の行事を通して、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	8	67%	3	25%	1	8%	0	0%

Ⅷ 地域住民や関係機関との連携

	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 地域の人々とのあいさつや交流を大切にしている。	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
② 地域の人が、園のことに興味を持ったり、園の方針を理解したりする工夫をしている。	5	42%	6	50%	1	8%	0	0%

Ⅸ 運営管理

	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
② 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応ができる体制がある。	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
③ 保護者の意見をしっかりと聞き、適確に報告・連絡・相談をしている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
④ 園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
⑤ 事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある。	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%
⑥ 緊急時のために医療機関等の連絡先が明示されている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%

1. 今年度、特に力を入れて取り組んだ事や成果を上げた事は何か？

- 個性が豊かな学年であり、とくに療育利用の園児も多く在籍していたが、一仲間、クラスの1人としてどの行事にも、今もつ力を出し切って参加できるよう援助をしていった。今ではお互いを認め合い助け合えるクラスになれたように感じる。子ども達の力を信じたクラス運営を行えたのは良かった。
- 研究会のテーマでもある「じゃんけん」の理解、遊びの広がりにも力を入れ取り組みました。年長児らしく難しすぎない中にも挑戦していける遊びができ（ピンゴ）、友だち同士協力する様子も多く見られた。
- 一人ひとりとかかわり合い、その子に合った配慮や援助、声かけなどを行い、一人ひとりに寄り添っていくこと。
- クラス内にいる療育通いの子や、こだわりの強さがある子、気になる部分がある子の一年の成長を感じることができた。
- 一人ひとりのかかわり方を、様々なやり方でかかわって、保育をすることができた。
- 持っているクラスの保護者との信頼関係をより深く築いていけるように努力をした。また、クラス仲をより深めていけるような雰囲気づくりを意識して保育を行った。その結果、子ども同士で“楽しい”を共有する姿が多く見られたように感じる。
- 園の流れ、やり方をとにかく覚える。
- 自分が経験してきたことを伝え、少しでもアドバイスできるようにする。
- 学年の子どもの様子に合った行事内容になるように話し合いを重ね、無理なく進めることができた。
- 1人ひとりが楽しく登園できるよう、不安な事や嫌な事があった時には、すぐに対応できるようにした。
- こいぬくらぶで、子どもたち全体を見ながらも1人1人と関わりを持ち活動を進められるよう意識して取り組んだ。
- 異年齢児と触れ合う中で、遊びの発展へ繋げていけるように、環境構成を考えていくように心がけた。
- 子どもたちや担任の先生が活動しやすいように準備や片付けなどを進めるようにした。

2. 今年度、なかなか成果を上げることができなかった事はありましたか

- 保護者と同じ方向を向けているようで、思いが伝わっていないと感じる場面も多く、年々「発達ゆっくり」な園児の行事参加、保育参加のやり方に悩んでしまう。自己満足にならないよう、一人ひとりが成長できるよう、援助をしていく難しさを感じている。
- 縄跳びにおいては、興味がある子と苦手なかなか挑戦までに自分から行けない子との差が大きかった。

- フリーとしての全体活動の動きが積極的に動いたり、気付くことが難しかった。各クラスや個別のかかわりが多かった為、行事全体の把握など、ぬけていることがあった。
- 個別の対応に力を入れる事は出来たが、全体での活動をもう少し取り入れていきたかった。
- 療育に通っている子どもや援助を必要とする子どもに対して、手立てを立てていくことが難しく感じた。また、そういった子どもの保護者への伝え方や気持ちの寄り添い方をもっと模索していく必要があると感じた。
- 早め早めに用意するなど、後々余裕を持てるようにすること。なかなか覚えられず同じことを何度も教えてもらう。
- 行事のねらいや目標が保護者の方に伝わりきらなかったように感じる。
- 気になる子や暴言など言う子に対して、都度対応をしてきたが、あまり成果がなかったように感じた。
- フリーとして全体を見て行動をすること。先のことを意識して動くこと。
- 先を見通して、考えて行動していくこと。
- 日々、時間ややることに追われバタバタとしていた。もっと余裕を持って行動していきたいと思った。

3. (2) について、来年度はどのように取り組もうと思いますか

- 正解のないものなので、あきらめずに家庭との連携を行っていきたいと思うが、自分の中でもきちんとした保育観をしっかりと持ち、自分の意志として伝えられるようになっていきたいと感じる。しっかりとアンテナをはり、日々変化している日常、保育を見落とさないよう、勉強していきたい。
- 定期的にやれるよう言葉掛けはしていたので、引き続き行っていくとともに、お互いに見て励まし合えるよう一覧表のような物を使っていてもよいのかと思うので、保育者間で相談してみたい。
- 全体的な事をしっかりと把握した上で、積極的に動き、職員や子どもたちのサポートを行っていきたい。細かいところにも気付き配慮できるようにしていく。
- クラス内の状況をよく見て、活動内容を考えていきたいと思った。
- 療育先との密な連携や、子どもの特性をしっかりと理解してその子どもに合った援助を的確に行えるようにしていきたい。
- 人に言われる前に、自分から伝えたり聞いたりして動けるようにする。

学校関係者評価
(評価対象 令和6年度)

幼稚園型認定こども園柏ひがし幼稚園
開催日時 令和7年2月21日

令和6年度評価委員

富勢西小学校校長、布施新町町会関係者、柏ひがし幼稚園保護者

幼稚園型認定こども園

柏ひがし幼稚園 園長 寺山 浩美 様

学校関係者評価委員会議資料の送付、ありがとうございました。今年度当初より、ご招待いただいた園の行事や頂戴いたしました資料を参考にさせていただきながら、ご依頼いただいた幼稚園および保育者の皆様の保育の取り組み状況について、少し記述をさせていただきます。

保護者からの意見について

保護者の皆様から寄せられた意見を総合すると、幼稚園の取り組みには多くの肯定的な評価が見られます。特に、以下の点が高く評価されています。

1. コミュニケーションの充実

- 電話や連絡ノートを通じて、園での子どもの様子を詳細に伝えてくれることが評価されています。これにより、家庭で感じる以上の成長を実感できるとの声が多く寄せられています。
- 一人一人の子どもに対して丁寧に話を聞く姿勢が親身であると感じられています。

2. 行事やイベントの配慮

- 運動会や夏祭りなどの行事において、駐車場の手配や体調不良時の対応が丁寧であると評価されています。
- 特に、猛暑の中での行事に対する見直しの要望がありましたが、全体的には行事の運営に対する感謝の声が多く寄せられています。

3. インクルーシブ保育の実践

- インクルーシブ保育の良さを感じ、達成感や自信だけでなく、助け合う気持ちを育てている点が評価されています。

一方で、改善が求められる点もいくつか指摘されています。

1. 情報提供の不足

- 保護者に対する説明が不十分であるとの声がありました。特に、子どもから園の様子が聞けない場合、保護者が不安を感じることもあるようです。

2. 職員の対応

- 一部の職員の対応に対して不満や差別を感じるとの意見がありました。これに対しては、職員の教育や対応の改善が求められます。

職員自己評価について

職員の自己評価からも、幼稚園の取り組みには多くの肯定的な評価が見られます。

1. 保育目標の実践

- 保育目標が子どもたちの中に生きていると感じる職員が A 評価 67%、園の保育計画の見直しがされていると感じる職員が A 評価 75%と高い評価を得ています。これは、全職員が目標や計画を共有し、常に意識しながら業務にあたっていることがうかがえます。職員の意識の高さと誇りをもって仕事に携わっている様子がわかります。柏ひがし幼稚園の強みの一つだと思います。

2. 園児の興味関心の尊重

- 園児の興味関心が取り入れられていると感じる職員が A 評価 75%、全園児の利益と人権を尊重していると感じる職員が A 評価 100%と、子どもたちの個性を尊重する姿勢が評価されています。今、多様性の時代だと言われています。学校でも、教室の中において、「特定なことに優れている子」「学力が高い子」「学力が低位な子」「運動が得意な子」「運動が苦手な子」「発達の特性をもった子」「外国籍の子」等等、本当に多様化しています。そんな中で、一人ひとりの特性を理解し、その子にあった保育をしていくことは大変なことです。人権に関する評価が 100%。素晴らしいことです。職員の人権意識の高さがわかります。学校の職員の中には、人権意識が低い職員もいます。見習っていきたいと思います。

3. 衛生環境の整備

- 衛生的な保育環境の整備に対する評価は 42%と低めですが、改善の余地があることが認識されています。反対の見方をすれば、そこに目を向けられている職員が多いということですね。

4. 保護者との信頼関係

- 保護者との信頼関係ができていると感じる職員が 42%と低めであり、保護者とのコミュニケーションの強化が求められています。様々な価値観をもった保護者も多くいます。若い職員では、対応に悩まれる方もいると思います。中堅やベテランの職員でぜひフォローをし、支えてあげてほしいと思います。

職員からは、保育のやり方に悩む声や、自己満足にならない保育を目指す中での難しさが挙げられています。また、気になる子どもや暴言を言う子どもに対する対応に苦慮しているとの声もあり、家庭との連携を強化し、子どもの特性に応じた援助を行うことが求められています。職員研修をする機会があると思います。挙げられた課題について、職員皆で考えを出し合ったり、外部から講師を招聘して話をうかがったりと、職員の困り感を軽減してほしいと願っています。

いろいろと何をするにもやりにくい時代ですが、頑張っていっちゃと思います。日常の基本的な行動を徹底させるのは、保育というより、しつけと思います。家庭ですべきことも多いかと考えます。いろいろと大変だと思いますが、未来ある子どもたちのために、これからもよろしく願いいたします。

今年度もたくさんお邪魔させていただきました。楽しそうに頑張る子どもたちの姿や熱心に保育に携わる先生方の姿を拝見し、幼児教育の素晴らしさを感じ取ることができました。今年度園長先生もかわり、様々なことを引き継いでいく中で、大きな重圧があったことと思います。緊張されている場面を何度かお見かけしましたが、職員や保護者の皆様、園児が温かい眼差しで見守っている様子を感じ取ることができました。これも、園長先生のお人柄の良さがそうさせているのだな、と思いました。本当にお疲れさまです。

柏ひがし幼稚園が子どもたちはもちろん、先生方の職場としても気持ちよく過ごせる場所であってほしいと思います。お邪魔をさせていただく度に、先生方から丁寧なご対応をいただき感謝しております。職員の皆様にもよろしくお伝えください。

園長先生をはじめ教職員の皆様、どうかご自愛ください。

2025年2月21日

柏市立富勢西小学校長



評議員コメント

寺山先生にとっては前任者の任期が長かっただけに何かとプレッシャーも多く気苦労の多い1年であったと思います。しかし、独自色を出しながらも担当の先生方とのコミュニケーションを尊重してのコンセンサス作りを積み上げてこられ、外部から拝見していても立派な運営が行われていたと思います。

何分社会の解体が進み、園児のご両親の価値観は多角化、分散化の傾向にあつて、色々の角度からの意見や要望を受けるとは思いますが、社会関係へのデビュー期にある子供に対し、叱らず、焦らず、対等の目線で向かい合っておられ、それが1年、2年と経ることによって確実に子供の成長に結実している様子を拝見していると、一番大事なことがちゃんとできていると感じます。自信を以て今の路線を進めて行かれたら良いと思います。

私たち高齢者がスマホの操作に悪戦苦闘しているとき若者が何の苦も無く処理しているときは、知の吸収の仕方が違うことを感じます。一方、皆がそこそこの知識を以て手っ取り早く対応することは器用だが、とことん根性を以てやり遂げる、各人各様の感動の世界を大事にする、教養の奥深さなどは今の時代少し浅いかなと感じます。

小学校に入るとタブレット端末を与えられ知育のノルマも課せられて来ますが、幼稚園の時期はじっくり人間の基礎を各人各様に育ててほしいなあと思います。そういう意味でも園の教育方針は得心が行きます。

時に改めての注文はありません。今の方針で先生方楽しく過ごしてください。

布施新町

ご意見ご感想をお願いします。

学校関係者評価委員

柏ひがし幼稚園保護者の会

今年度、本部役員となり園の行事、企画等に携わる事ができ、
充実した1年となりました。

子供から話を聞くと、先生方は子供達に優しく、時には厳しく
接して頂き毎日を楽しみ過ごしている様です。

1年を通し、様々な教育行事を企画してくださった事、子供たちは
様々な経験を積み重ねてきていると思います。

教育課程について非常に感謝でいっぱいです。

しかし、何点が改善できたらさらに良くなるのではないかと
いう点があり、1つ目は行事(保護者参加時)の
日程連絡です。最近では2号認定の家庭も増え
働かされている保護者、ご家庭もあるので園側でも大変だと
は思いますがもう少し早めの連絡を頂きたいという
声が周りから多数頂きました。

次に、時折ある、物品寄付のお願いですが

ティッシュボックスなど幼稚園で必要なもので経費で支払いが
難しいのであれば保護者会費から出してもいいのではない
でしょうか。保護者会費も積立金が多く残されている上、
皆で使うものは、皆から集金したもので使用する事は悪く
ない事だと思います。他の園での保護者会費の運用の
仕方や、残った会費などの使い方など比べてしまうと
とても効率的ではない気がしてしまうので。その2点が
気になりました。

色々な保護者の方、役員の方、先生方のご協力を
頂き一年の間、子供たちのキラキラした笑顔と
見る事が出来ました事を本当に感謝致します。
ありがとうございました。

一年間ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご意見ご感想をお願いします。

学校関係者評価委員

柏ひがし幼稚園保護者の会

日頃 から 子供達の為 に ご"尽力 頂き ありが"とう
ご"さ"います。 これまで"保護者 傾りの アンケート を
目 に する 事 は あ、ても、 保育者 の 自己 評価 を
見る 事 は あまり なか、た (見て、いな、か、た、...?) ので、
参 考 に な り ま し た。

。ど"ちら に も 共 通 し た 意 見 や 考 え 方 と し て、 「一 人 ひ と り
を 見 て く れ る、 関 わ り 合 う」 と い う 事 に、 先 生 方 と 保 護 者
が 同 い 方 向 を む い て い る、 と 感 じ ま し た。

。少 人 数 の 園 で、 本 当 に 一 人 ひ と り を 良 く 見 て、 話 を
聞 い て く れ て い る と 感 じ ま す。 そ の 反 面、 個 性 の 強 い
子 や、 療 育 を 必 要 と す る 子 も 多 く な っ て い る (と 感 じ る)
の で、 先 生 達 の 負 担 や 業 務 量 な ど"が 増 え て い る
の で"は ない か と い う 印 象 で す。 ハ じ め 身 体 も、 し っ か り
休 む 時 間 を 作 れ て い る 環 境 で あ れ ば"良 い な
と 思 い ま す。

。行 事 を 見 る た び に、 子 供 達 へ の 細 か い 気 使 い が
感 じ ら れ ま す。

。担 任 や フ リ ー の 先 生 た"け で な く、 園 長 先 生 も
積 極 的 に 保 育 に 参 加 さ れ て い て、 子 供 と も 保 護 者 と も
距 離 が 近 く 話 し や す い で す。

。撮 影 に つ い て、 直 接 目 で 見 て も ら、 た 方 が、 子 供 達 は
う れ し い と 思 い ま す。 祖 父 母 な ど に 動 画 を 送 り た い 等 も

良くわかるので、判断は難しいです。

2回目の学校評価委員会を終えて、ホームページや
マチコミで、園の様子がわかると安心する方もいる
かもしれないと感じます。茶話会の開催など、保護者
同士のコミュニケーションの場があると、情報交換など
出来てより幼稚園を身近に思えるかもしれません。

(良し悪しや賛否両論は必ずあると思えますが...)

微力ではありますが、役員活動を通して、幼稚園や
先生方と関われる事が出来て良かったです。

1年間ありがとうございました。

一年間ご協力いただき、誠にありがとうございました。